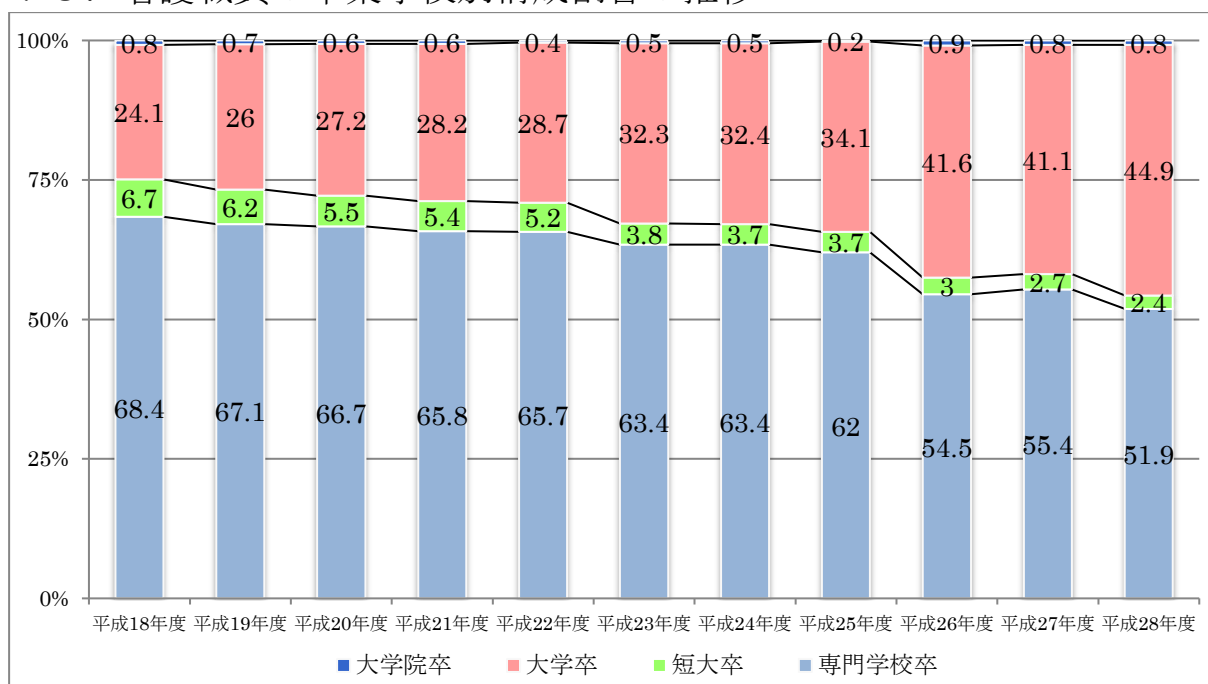


78. 看護職員の卒業学校別構成割合の推移



日本看護協会では看護職の基礎教育を4年制にすることが必要としており、基礎教育の主体であった専門学校が短大、大学へと徐々に変更がされている。看護業務における能力は学歴とイコールではなく、本人の資質に加え卒業後の継続教育や環境にも大きく左右される。

当院においては学園に大学看護学科を有する関係から、従来より他施設と比較しより多くの大学卒看護師を有しており、更に、大学院での看護師養成が増加する中で、その割合が増加傾向にある。逆に専門学校卒業者は徐々に減少し、短期大学卒業者の占める割合も微減している。

より高学歴となる看護職集団の人間性を含めた更なる質の向上が求められる。

データ提供 看護部